

事業名		観光振興事業					
事業の概要		自然景観や歴史的資源をはじめ本町のすぐれた観光資源を活かすとともに、温泉を活用した癒し観光、特色ある産業などを舞台にした体験観光など、ここならではの交流の場作りを進めるために必要な観光施設の整備を行う。また、産業振興イベントの実施や、地元産品の販売拡大、販路開拓を支援し与謝野町のPRと観光産業、地域経済の活性化を図るものである。					
		・観光施設パンフレット・観光PRポスター作成事業 ・観光振興事業費補助事業 ・ケアハウス岩滝整備事業 ・旧加悦町役場管理運営事業 ・観光施設整備事業					
		事業期間	平成22年4月9日～平成23年3月31日				
		総事業費	13,507	本年度事業費	13,507	交付金交付額	6,744
事業評価	事業の必要性	人口が減少し高齢化が進展する本町において、まちの活性化は至上課題である。まちの衰退を回避するため、自然観光資源や、歴史的・文化的観光資源を有効に活用し、本町の素晴らしさを伝え、交流人口の増加を図り、まちの活性化を図るものである。					
	事業の有効性	産業振興イベントの実施や、地元産品の販売拡大、販路開拓を支援することにより、与謝野町のPRと観光産業、地域経済の活性化を図るものである。与謝野町の知名度の向上や、観光客数・観光消費額の増加が見込め、町内の観光振興に資するものとなる。					
	事業の効率性	温泉を活用したいやし観光、特色ある産業などを舞台にした体験観光など、ここならではの交流の場づくりを推進するため、施設整備を適切な時期に行うことで、長寿命化を図るとともに、与謝野町の印象の向上及び効果的誘致が図られるものである。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	具体的な成果	2 住民の自治意識を高める成果 観光振興事業の実施により、与謝野町を町の内外にPRすることができ、観光客数・観光消費額の増加が見込め、地域活性化・町内の観光振興に資することとなる。					
	具体的な成果	3 リーディング・モデル成果 本事業により、観光資源の充実を図り、町外からの来訪者と地域住民の相互交流を促進し、まちの活性化を図るものである。また、地元産品の販売拡大、販路開拓を支援し、与謝野町をPRすることで、観光客の増加と地元経済の活性化に資する。					
具体的な成果	4 広域的波及成果 本町のすぐれた観光資源を活かすことにより、町民の交流の場の提供、観光施設利用に付随する公共サービスや観光施設を介して発生する各種民間サービスの提供を図ることができ、リピート性の高い安定した観光地づくりに資する。						
具体的な成果	5 行財政改革に資する成果 施設整備を適切な時期に行うことで、長寿命化を図る。						
具体的な成果	6 その他の成果 本町の主要産業であるちりめん産業が長期の低迷状態にある中、町内の観光・産業資源を町外に積極的に周知することで、今後の本町の産業を豊かなものにするためのきっかけとするものである。						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。